

大山歴史文化遺産マップ

※私有地にある場合もあるので、見学の際は注意しましょう



①大山貝塚
1958(昭和33)年の発掘調査で、土器・かんざし・骨針などが発見されました。中でも土器は「大山式土器」として沖縄の標準土器となりました。1972(昭和47)年に国指定史跡に指定されました。



③大山御嶽碑
伊波門中発祥の記念碑として、1761(乾隆26)年に建立されました。碑文には、宮城・伊波一族の由来や地方上級役人層の家名・位階・称号が記されており、18世紀中頃の宜野湾間切の地方行政の在り方を知る貴重な文化財です。市指定史跡です。



⑤大山マヤーガマ洞穴遺跡
貝塚時代前期(約3000年前)～近世(約200年前)の各時期の遺跡です。宜野湾市の墓の変遷を知る貴重な資料です。市指定史跡です。



⑩タクグワケ
カニクモとも呼びます。旧暦4月1日に海難除けのタクグワケ御願がおこなわれ、タコが供えられます。身元不明の死者を葬った場所といわれています。



⑪大山の綱引き
旧暦の6月15日のウマチー後の日曜日に、大山小学校グラウンドでおこなわれています。戦前は、ウマチーの日に旧国道(現在の国道58号)でおこなわれていました。



⑫ミジカシガー(シンダカリヒーガー)
大山湧泉群のひとつです。かつては、高い場所から湧いていて、水汲みの女性が頭上に桶を載せたまま、水を入れることができたそうです。



②前門原遺跡
集落発祥の地といわれており、拝所・御嶽・旧家などが集まっています。戦前の基盤型集落の面影を残しています。



④イーグシカーヌタキ
金満(カニマン)御嶽とも呼び、上具志川(イーグシカー)門中が管掌しています。1960年代の採石工事のため崩され、新たに作られたものです。綱引きの祈願の時に拝む場所の一つです。



⑥メームトツブヌトウン(ヒヌカン)
自治会が管理する拝所です。綱引きのときなどに御願がおこなわれます。



⑦醴泉の塔
戦没者慰霊のため、1961(昭和36)年2月に建立されました。405柱の戦没者を祀っています。



⑧上江家の墓
伊波一門の上江家が管掌する宜野湾市で最古の龜甲墓です。墓室内の石碑によると1699年にできたといわれています。



⑬ヒーガー(メンダカリヒーガー)
大山湧泉群のひとつで、大山のウブガー(産泉)です。現在は農業用水に利用されています。



⑬マジキナガー
大山湧泉群のひとつです。現在は農業用水に利用されています。



⑭大山水田の水門
昭和戦前期に、西端の海岸線に沿って築かれた護岸堤防に付随して設けられた水門です。現在、旧堤防の海側も埋め立てられ、宜野湾バイパスさらにコンベンション施設や民間商業地域となっています。



⑮アラナキガー
大山湧泉群のひとつです。現在は農業用水に利用されています。かつては那覇市の上水道の水源地のひとつでした。



⑯ヤマチチャガー
大山湧泉群のひとつです。現在は農業用水に利用されています。



⑰ウーシヌハナガー
大山湧泉群のひとつです。現在は農業用水に利用されています。



⑱大山クンジャンアブシ古道
旧国道(現在の国道58号)ができる以前は、沖縄本島の首里と国頭を結ぶ幹線道路でした。